

平成29年第3回小国町議会臨時会会議録

(第 1 日)

- 1. 招集年月日 平成29年7月31日(月)
- 1. 招集の場所 小国町森林保全センター
- 1. 開 会 平成29年7月31日 午前10時04分
- 1. 閉 会 平成29年7月31日 午前10時48分

1. 応招議員

1番 穴 井 帝 史 君	2番 大 塚 英 博 君
3番 北 里 勝 義 君	4番 高 村 祝 次 君
5番 児 玉 智 博 君	6番 時 松 唯 一 君
7番 穴 見 まち子 君	8番 松 崎 俊 一 君
9番 熊 谷 博 行 君	10番 時 松 昭 弘 君
11番 松 本 明 雄 君	12番 渡 邊 誠 次 君

1. 不応招議員

なし

1. 出席議員

1番 穴 井 帝 史 君	2番 大 塚 英 博 君
3番 北 里 勝 義 君	4番 高 村 祝 次 君
5番 児 玉 智 博 君	6番 時 松 唯 一 君
7番 穴 見 まち子 君	8番 松 崎 俊 一 君
9番 熊 谷 博 行 君	10番 時 松 昭 弘 君
11番 松 本 明 雄 君	12番 渡 邊 誠 次 君

1. 欠席議員

なし

1. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 小 田 宣 義 君 書記 穴 井 桂 子 君

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長 北 里 耕 亮 君	教 育 長 麻 生 廣 文 君
総 務 課 長 松 岡 勝 也 君	教 委 事 務 局 長 横 井 誠 君
政 策 課 長 清 高 泰 広 君	産 業 課 長 澁 谷 洋 典 君
情 報 課 長 佐々木 忠 生 君	税 務 課 長 橋 本 修 一 君
建 設 課 長 佐 藤 彰 治 君	住 民 課 長 生 田 敬 二 君
福 祉 課 長 木 下 勇 児 君	保 育 園 長 児 玉 敦 子 君
会 計 管 理 室 長 藤 木 一 也 君	

会議録署名議員の氏名

議長は今期臨時会の会議録署名議員に次の2名を指名した。

4番 高 村 祝 次 君

9番 熊 谷 博 行 君

1. 会期の決定

今期臨時会の会期を 7月31日の1日間とする。

1. 町長提出議案の題目

別紙議事日程のとおり

1. 議員提出議案の題目

なし

1. 開議議事日程

午前10時04分、議長は本日の議事日程について次のとおり報告した。

別紙議事日程のとおり

議事の経過 (h. 29. 7. 31)

議長（渡邊誠次君） 皆さま、おはようございます。

大変お忙しい中に、平成29年第3回小国町議会臨時会を開催する旨、御案内を申し上げますところ、議員各位には何かと御多用の中、御出席をいただきましてありがとうございます。

それでは、開会に先駆けまして一言御挨拶を申し上げます。

先日の九州北部豪雨災害では、九州各地に甚大な被害をもたらしました。小国町でも人的な被害はなかったものの、山腹崩壊等の被災の状況でございます。本日の議案にもあるとおりでございます。改めて、被災された方々へお悔やみを、それからお見舞いを申し上げたいというふうに思います。

御出席の皆さま方にも、災害の支援、それからボランティア等々行かれた方、また行かれる方いらっしゃると思います。まだまだ厳しい暑さが続きますけれども、体調管理に気を使っていたきながら御尽力をいただきたいと思います。

それではまず、北里町長より挨拶をいただきたいと思います。

町長（北里耕亮君） 皆さん、おはようございます。

平成29年第3回の小国町議会臨時会を開催させていただきましたところ、皆さま方におかれましては、大変お忙しい時期にお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。

さて、本日の議案でございますけれども、議案第37号といたしまして、平成29年度小国町一般会計補正予算。この内容でございますが、ただいま議長のほうも話題にさせていただきました先の九州北部豪雨におきまして、小国町でも被害がございました。後ほど詳しく説明させていただきますが、予算の名称といたしまして「林地荒廃防止施設災害復旧工事」ということで、出しております。また、「単県治山自然災害復旧工事」ということでも出しております。ポイントで言わせていただきますと、ウッディ協同組合、事業体でございますが、その左斜め後ろの山腹が崩壊をいたしまして、施設や土砂崩壊、そういう大規模な災害に至っております。この部分につきまして、小国林業を支える一つの事業体でありますし、今県や国とも協議をして、速やかな災害復旧に努めたいということで、本日の臨時会を催させていただきました。他にいくつか案件はございますけれども、お願いをしたいと思っております。

また、議案第38号、小国町農業集落排水事業特別会計補正予算についてでございますが、6月議会におきまして条例改正もございましたけれども、やはり農業集落排水事業のなかでポンプ、そういった部分の経年劣化、老朽化も見受けられます。止まってからでは遅いものですから、そのような部分で計画的に修繕という形でさせていただきたく、本日上程をさせていただいているものでございます。

両議案でございますけれども、よろしく御審議をお願い申し上げます。

以上です。

議長（渡邊誠次君） ただいま出席議員は12人です。定足数に達していますので、平成29年第3回小国町議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

（午前10時04分）

議長（渡邊誠次君） 本日の臨時会の議事日程につきましては、お手元に配付してありますとおりでございます。

日程第1、「会議録署名議員」を指名いたします。

4番 高村祝次君

9番 熊谷博行君

をお願いいたします。

議長（渡邊誠次君） 日程第2、「会期の決定」についてを議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（渡邊誠次君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

議長（渡邊誠次君） 日程第3、「議案第37号 平成29年度小国町一般会計補正予算（第2号）について」を議題といたします。

執行部より提案理由の説明を求めます。

総務課長（松岡勝也君） おはようございます。それでは、議案を朗読させていただきます。

1ページ上段でございます。

議案第37号 平成29年度小国町一般会計補正予算（第2号）について

地方自治法第218条第1項の規定により、平成29年度小国町一般会計補正予算を別紙のとおり提出する。

平成29年7月31日提出

小国町長 北里耕亮

でございます。

それでは、議案集をお開き願いたいと思います。1ページでございます。

平成29年度小国町一般会計補正予算（第2号）

平成29年度小国町の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1千388万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ50億1千629万9千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(地方債の補正)

第2条 既定の地方債の追加は、「第2表 地方債補正」による。

平成29年7月31日提出

小国町長 北里 耕亮

でございます。

それでは2ページ、歳入歳出予算補正、歳入でございます。今回、歳入を充てておりますのは、款の分担金及び負担金、県支出金、繰越金、町債でございます。今回、歳入補正の分担金によりますのは612万円、県補助金が6千85万6千円、繰越金を2千850万4千円、町債を1千840万円、合計1億1千388万円を歳入で補正するものでございます。

次に3ページ、歳出でございます。今回の歳出の款の区分でございます。総務費、民生費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費でございます。

それでは補正でございます。総務費といたしまして85万円。次、民生費でございます。これは社会福祉費と児童福祉費でございます。合わせて697万円でございます。詳しいところは歳出でまた御説明させていただきます。農林水産業費は、林業費といたしまして9千109万円、土木費、道路橋りょう費400万円、消防費95万円、教育費177万円、災害復旧費825万円、計の1億1千388万円でございます。

4ページでございます。今回、歳入といたしまして、地方債補正をさせていただきます。追加の地方債でございます。公共土木施設災害復旧事業費、これは林地荒廃防止施設災害復旧事業でございます。1千万円。次、治山事業費、これは単県治山自然災害復旧事業によるものでございます、840万円。合計の4億4千590万円の地方債の合計となります。

それでは、7ページからを歳入歳出の詳細を説明させていただきます。今回、分担金といたしまして612万円を分担金で補正させていただきます。林地荒廃防止施設災害復旧事業分担金252万円、これは7%に相当するものでございます。次、単県治山自然災害復旧事業分担金360万円、これは10%の負担率となっております。次、県支出金、農林水産業費県補助金でございます。全体6千85万6千円でございます。緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金1千348万円、これは国の補助2分の1補助でございます。次、林地荒廃防止施設災害復旧事業補助金2千340万円、これは補助率が65%でございます。次、単県治山自然災害復旧事業補助金2千397万6千円、この補助金は3分の2という率となっております。次、繰越金でございます。前年度からの繰越金として2千850万4千円を充てるようにしております。次、町債でございます。治山事業といたしまして、これ単県治山の方でございます。840万円を町債として充当させていただきます。次、1千万円、土木施設災害復旧事業費。これは林地荒廃防止施設災

害復旧事業費の分でございます。1千万円でございます。

次、歳出でございます。4ページからを説明させていただきます。

財産管理費でございます。需用費といたしまして85万円、修繕費。これは7月からの豪雨災害によります町有地等の修繕・片付け等の予算不足による補正でございます。次、民生費、社会福祉費でございます。需用費280万円、修繕費といたしております。これは隣保館のエアコンまたLED及び調理室のシンクの改修でございます。合わせて280万円を補正させていただきます。次、民生費、児童福祉費でございます。これは賃金といたしまして、臨時保育士の賃金293万8千円でございます。これは職員の産休に伴う職員及び、また受託利用の園児の増によるものとして2名の臨時保育士費を計上させていただいております。その他、社会保険料、委託児童運営費として77万円、合計417万円でございます。次、農林水産業費の林業費、林業振興費でございます。負担金補助及び交付金といたしまして1千348万円、緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金ということでございます。これは、町内の運送業者の大型機械の導入ということで、国の補助2分の1を町を経由して補助するものでございます。次、治山事業費でございます。主なものといたしまして、需用費といたしまして修繕費250万円。これは治山に伴います修繕費等でございます。次、15の工事請負費7千200万円、林地荒廃防止施設災害復旧事業工事3千600万円、及びこの下の欄でございます。単県治山自然災害復旧工事費3千600万円、合計7千200万円の工事費の補正でございます。次、土木費、道路橋りょう費でございます。道路維持費といたしまして、修繕費400万円でございます。これは豪雨災害によります道路維持等の不足による維持費の補正でございます。次、消防費でございます。消防対策費といたしまして95万円。これは今回の豪雨災害等によります警報等による職員の待機職員による手当が不足したということで、20万円を補正させていただきます。また、修繕費といたしまして75万円補正させていただきます。これは坂本橋の水位計が老朽化による故障を生じたということで、修繕する費用として75万円を補正させていただくものでございます。次、教育費、中学校費でございます。学校管理費といたしまして修繕費36万円、これは7月5日の落雷によります中学校の火災報知器の被災ということで、修繕で今回補正をさせていただきます。次、教育費、保健体育費、保健体育総務費でございます。今回は九州中学校のバドミントンの競技でバドミントンの団体が優勝したということで21万円、それと九州中学校柔道競技大会出場の補助金といたしまして5万円、それと全日本中学校ホッケー選手権大会全国大会の出場ということで70万円、合計の96万円ということで、それぞれ九州大会及び全国大会への出場に対する補助金でございます。次の下の欄の給食センター費でございます。45万円、修繕費。これも先ほど中学校と同じように7月5日の落雷によります火災報知器の被災ということで、修繕費として45万円計上させていただきます。次の災害復旧費、農林水産業施設災害復旧費、農地災害復旧費でございます。主なものとしまして、委託費70万円。今回豪雨災害によります災害復旧ということで、

農地が6件発生しております。これの委託費分でございます。この下の欄の農業用施設災害復旧費、主なものといたしまして、単独の農業用の施設の小災害復旧補助金といたしまして20万円を今回補正させていただきます。

10ページでございます。災害復旧費の公共土木施設災害復旧事業費、土木施設災害復旧費でございます。主なものといたしまして、需用費でございます。豪雨災害によります修繕費といたしまして、今回流木等の河川による流れで、橋りょう等にかなり大きい流木が引っ掛かっております。そういったものも含めました修繕費といたしまして600万円計上させていただきます。また、公共土木の災害が発生いたしております。その調査測量委託ということで100万円、委託料として計上させていただいております。

以上で、今回小国町一般会計補正予算の概要説明を終わらせていただきます。

議長（渡邊誠次君） これより、議案第37号について質疑に入ります。質疑ございませんでしょうか。

5番（児玉智博君） 林業振興費の緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金ということで、運送業関係というふうに聞こえたのですが、具体的にもうちょっと説明をしていただければと思います。

産業課長（澁谷洋典君） 御説明いたします。本事業は、緑の産業再生プロジェクト促進事業という国の補助事業でございます。今回補正をさせていただくものは、小国郷における安定的な素材生産を行っていく上で、その素材生産から流通にかかる部分で、素材の運搬業を行う林業事業体が輸送トラックを導入するものに対する補助金ということで、2分の1補助を行う。国の補助が2分の1でございますので、町を経由して林業事業体のほうに2分の1の補助金を流すというものでございます。

5番（児玉智博君） これは、要するに1千300万円というようなところなので、大体2千600万円ぐらいする車輛を入れるということですね。これは、今後もあるんですか。それとも、単発で1台だけ入れて終わりというふうになるのか。

産業課長（澁谷洋典君） この事業はずっと継続して国の補助事業としてございますので、要望があつて計画が認められれば、今後も出てくると思います。小国では一昨年、町内の別の輸送業者でございますけれども、同じような輸送トラックを導入した経緯がございます。一つ、何で今回の臨時議会で補正をさせていただくかということ、これは特殊車輛になりますので、特注ですね。製造して出来上がるまでにメーカーに言わせると8カ月ぐらい時間が欲しいという話を聞いております。9月の定例議会での補正と考えておりましたけれども、今回、臨時議会を開かせていただくということで、少しでも早く補正を通していただければ、できるだけ早い車輛着手もできるということで、今回計上をさせていただきました。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

5番（児玉智博君） それでは、9ページの保健体育総務費についてです。九州大会がバドミントンと柔道、それと全国大会がホッケーというふうになっております。これは柔道だけ見ると5万円ということで、他の2つと比べてもそれぞれ3つの部ごとに金額の差が大きいかなと思うのですが、これは理由はどうしてなのか御説明をお願いします。

教育委員会事務局長（横井 誠君） 今回、3種目の競技の大会の補助金を上程させていただいておりますけれども、バドミントンにつきましては女子の団体ということで、開催地が長崎県の諫早市になってございます。選手及び監督・コーチ含めまして人数的には9名ということで、交通費と宿泊2泊のほうを計上させていただきます。次の中学校の柔道につきましては、男子の55キロ級の個人が1名ということで、その1名に監督並びにコーチを含めました3名ということで、開催場所が佐賀県になってございますけれども、この分につきましては1泊分の宿泊費と交通費を計上させていただいております。最後の中学校のホッケーにつきましては、男女とも出場ということでございまして、選手並びに監督、それからコーチを含めました20名ということで、3泊の宿泊費と交通費を計上させていただきます。柔道につきましては個人戦の選手は1名ということでございますので、総額の金額につきましては一番安くなっている状況でございます。

以上です。

5番（児玉智博君） これは交通費と宿泊費は実費で全額補助ということですか。それとも何割かというところなのですか。

教育委員会事務局長（横井 誠君） これまでも数多くの大会に昨年度も含めまして出場してございますけれども、その折にも大会の要綱で決められてございます対象人数につきましては宿泊費及び交通費につきまして、全額補助をさせていただいている状況でございます。

5番（児玉智博君） 例えば、佐賀県の柔道は個人だから選手と監督と随行する先生との3人分で、1泊しても5万円ということは、これは素泊まり料金だからそうなるのですかね。一つの部屋に3人寝るといことなのですかね、とても安いと思うのですけれども。

教育委員会事務局長（横井 誠君） 各大会におきましては、その大会の開催地の宿泊地を大会の主催者のほうで押さえておりまして、統一した料金ではなくてランクによりまして少し金額が違ってございますけれども、予算上はどこに配属されるかわからないということで、一応どこでも泊まれる金額を計上させていただいております。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

11番（松本明雄君） 今の話のその下なんですけれども、給食センターに落雷があって、それも7月5日の平日。大体避雷針が付いていると思うのですけれども、その給食センターは避雷針を付けていたのか。そして、落雷が昼間あったのなら、子どもたちが給食の場にいると思うんですけど、そのあたりのことまで考えていたのか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

教育委員会事務局長（横井 誠君） この落雷についてでございますけれども、一応、避雷針並び

に避雷器といった施設がございますけれども、建築基準法のほうで建物等につきましては20メートルを超えるそういった対象物について、そういった機器を付けるようにしているようでございます。小国町の場合は、小学校が3階、中学校が4階でございますけれども、いずれも20メートル未満ということで。また、その避雷器等の設置にかかる費用でございますけれども、数百万円単位でかかるということで、一般的な話だとは思いますが、通常学校等にそういった避雷針、避雷器を設けている所は少ないというふうに向っております。町のほうとしても、今回こういった落雷を受けましたけれども、この費用につきましては現在保険のほうで、共済のほうで対応できるように手続等はとっている状況でございます。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

8番（松崎俊一君） 8番です。8ページの治山事業のところの工事請負、林地荒廃防止の施設、それから自然災害ですかね、どこのどのような施設なのか、または受益者ですかね。こういった負担金あたりがあるということで、そのあたりちょっと詳しく教えてもらいたいと思います。

建設課長（佐藤彰治君） おはようございます。先ほどの御質問の林地荒廃防止施設災害復旧工事、事業と申しますが、これについては国の山地崩壊に対する対策事業ということで、災害復旧ということで災害査定等も実施される事業でございます。それから、下の単県治山自然災害復旧事業と申しますのは、読んで字のごとく県主体の補助金を利用して通常の自然災害というようなことでの災害復旧事業、単県の災害復旧事業でございます。今回、会議の冒頭に町長のほうから説明がございましたとおり、ウッディの奥の山腹といいますか法面ですけれども、そちらが7月5日の深夜において、豪雨災害において崩壊したというようなことでして、これ以前17年にも同じ災害復旧で崩壊して、災害復旧をした経緯がございますので、再度今回の豪雨によりまして崩壊したというようなことで、事業主体としましては町のほうということになります。負担金等につきましては、現在ウッディ協同組合のほうで、そういう対象となるということでございますけれども、ここに計上させていただいております工事請負費、あるいは事業費と解してもよろしいかと思いますが、このあたりは現在まだ概算でございますので、これによる負担金は変化してくると思います。補助事業が負担金条例に基づいて、今回その概算におきまして予算を上程するにあたり、7%ということで負担金として上程させていただいているところでございまして、一方で単県治山事業につきましても同じく負担金条例、治山事業負担金条例におきまして10%ということで、1割程度計上させていただいているところでございます。いずれにしましても、元数字の事業費というのが概算でございますので、これはまた負担額というのが変わってくるかと思っております。実は、明日、明後日になりますけれども、林野庁のほうからその現地に赴きまして災害査定が実施されるということになっておりますので、事前にお知らせをしておきたいと思っております。

以上でございます。

8番（松崎俊一君） 8番です。場所はこの荒廃防止施設とこの単県の治山自然災害というのは同じ場所、どのようなところですか。

建設課長（佐藤彰治君） 場所としましてはウッディ奥で、同じ箇所ではございます。しかしながら、国費の対象になる災害復旧事業と、それと対象外の事業と箇所とございますので、それを区分させていただいた上で、国費災害復旧事業とそれから単県のほうでの対応と、つまり国費の災害復旧事業に乗らないという箇所は単県で対処したいというふうに考えておりますので、そういう箇所は1箇所ですが、区分をさせていただいているところでございます。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

3番（北里勝義君） 3番、北里です。

10ページの災害復旧費、この中で土木災害復旧費として修繕費を600万円ほど計上されております。本来、土木災害復旧費というのは災害を受けて、災害復旧工事として実施していく部分があるかと思えますけれども、修繕費というような予算の計上というのは、あまりないかと思えますが、この内容をちょっとお尋ねいたしたいと思えます。

建設課長（佐藤彰治君） 通常、災害が発生して、こういった議会等で、まずもって災害査定ということがございますので、それに向けて測量設計や委託料ですね、そうしたものを合わせて工事請負費というようなことも従来ですと計上させていただいたかと思えますが、今回9月査定、福岡・大分県に比べますと熊本県は比較的災害が少なかったということで、急々の査定が実施されませんで、9月になろうかという情報の中で、ある程度その時期に定例議会等もございますので、より工事請負費については上程する金額になった段階で計上させていただこうかなと考えておりますので、今回工事請負費のほうは9月の定例議会のほうで上程させていただくと考えているところでございます。この修繕費というのは、今回、比較的雨に対しては46ミリという時間最大ですね、というような雨で他県に比べますと比較的雨による災害というのが少のうございました。公共災におきましては、道路が1件、それから河川が1件というような災害復旧事業にかかる部分は、そうした2件の災害でございまして、他に農災8件、農地ですね、それから施設災1件というような比較的少ない状況ではございました。この需用費と修繕費というのは、今回河川の増水というのが、隣町がかなり降ったということで、その隣町からの河川が当然小国町を通過して筑後川、志賀瀬川水系ですけれども、そちらのほうの増水があったということで、久しぶりに道路のほうに冠水をしたという状況が今年ございましたので、冒頭に総務課長のほうから御説明がありましたとおり、各志賀瀬川・筑後川関係ですね、ピアのほうに流木がかなり引っ掛かって、それが一つの増水をまた助長したという経緯もございます。ですので、そうした流木の撤去であるとか、あるいは一部家屋に水が入りそうな所も今回ございましたので、道路のほうに土嚢等の設置やそういった材料費であるとか人件費であるとかいうようなもの。それから、一部崩土等も道路のほうにもございましたし、倒木もございました。そうしたものの撤去、除去費用というこ

とで、この災害復旧費に修繕費として計上させていただいているところでございます。

以上です。

3番（北里勝義君） はい、わかりました。

災害復旧に伴う応急的な事業といいますか工事ということで、理解してよろしいですかね。はい、わかりました。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

5番（児玉智博君） 火災報知器の故障の修繕ということで、状況としては熱や煙とかを全く感知しないような状況になっているのか。その壊れている状況が、どういうふうに壊れているのか教えていただけますか。

教育委員会事務局長（横井 誠君） 今度の落雷につきましては、先ほど御質問にございましたとおり、熱感知であるとか煙の感知であるとか、付属する施設がたくさんあると思いますけれども、今回計上させていただいているのが受信機という大元の機械でございまして、正直なところ、その受信機が直らない限り、他の煙や熱感知のほうはどうなっているのかがはっきりわからない状況でございます。今の現状としましては、その受信機の電源を切って、そういった報知の機能は今果たしていないような状況でございますので、至急その受信機のほうを修繕しまして、あと付属する煙だとか熱やそういった感知器のほうについて、さらに調査をする必要があると思っております。

5番（児玉智博君） それなら、例えば今火事になったって何も反応しないから、消防署にも通報がいかないというような、そういう状況が7月5日、それからずっと今そういう状況が続いているということになるのですか。

教育委員会事務局長（横井 誠君） 状況的には確かにそういう状況でございます。その件につきましては、学校を管理しています職員さんたちのほうに十分周知をしまして、そういった状態であるということをご認識していただいて、そういった町としましては早急に修繕を行いまして、対応ができるようにしたいと思っております。ただ、受信機というのが通常販売しているやつをすぐ持ってきて設置という具合にはいかない部分もございまして、生産受注といいますか、そういった部分もございまして、今回臨時議会ということで上程させて、少しでも早く対応したいと考えております。

以上です。

議長（渡邊誠次君） ほかに、質疑ございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議長（渡邊誠次君） 質疑がなければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議長（渡邊誠次君） なければ、これをもって討論を終結いたします。

これより、採決に入ります。

議案第37号、平成29年度小国町一般会計補正予算（第2号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

議長（渡邊誠次君） 全員挙手でございます。

よって、議案第37号は原案のとおり可決されました。

議長（渡邊誠次君） 日程第4、「議案第38号 平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題といたします。

執行部より、提案理由の説明を求めます。

建設課長（佐藤彰治君） それではお手元に、農業集落事業の特別会計予算書をお開きください。

それから、議案集のほうを朗読させていただきます。

議案第38号 平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について
地方自治法第218条第1項の規定により、平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を別紙のとおり提出する。

平成29年7月31日提出

小国町長 北里 耕亮

でございます。

それでは先ほどの補正予算書のほうをお開きくださいませ。まず開いて1ページでございます。

平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ400万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億3千906万3千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成29年7月31日提出

小国町長 北里 耕亮

でございます。

それでは内訳のほうで御説明させていただきます。

4ページをお開きください。

原案の歳出でございます。今回、総額で400万円補正をさせていただくということござい

ます。その内訳としましては、まず1点。西里の污水ポンプ、これ具体的に言いますと12号と申しますが、鯛の田付近にございますポンプ場でございます。そのポンプが1台故障をしまして、現在1台で運転をしているところでございまして、その1台についても修理を試みましたが、何分もうパーツもないというようなことで、修理ができないというような状況でございまして、現在はそういった状況の中で1台で運転をしている状況でございます。通常でありますと、交互運転というような形で、2台1組で運転をしているところでございますけれども、1台そういったことで修理不可能ということで取替えを行いたいということで、このうち400万円のうち200万円を計上させていただいたところでございます。

それから、その他につきましては、実は奥山団地のほうの出口と申しますか入口と申しますか、新奥山橋という国道にかかっている橋りょうでございます。これにつきまして県のほうで管理をしているところでございます。昨年の熊本地震によりまして一部ダメージを受けたということで、橋りょうの補修を実施するというようなことでございます。この橋りょうに町の污水管のほうですね、給水管もあるのですが、污水管が添架をしております、一部その工事のためにこの布設替を行う必要があるということでございます。ですので、その県の工事に伴いまして添架しております污水管の付替工事を計上させていただきたいということで、その400万円のうち200万円を計上させていただくところでございます。

上段の歳入につきましては、水道使用料とそれから前年度繰越金を充当したいというふうにございます。

説明は以上でございます。

議長（渡邊誠次君） これより、議案第38号について質疑に入ります。質疑、ございせんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議長（渡邊誠次君） 質疑がなければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ございせんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

議長（渡邊誠次君） なければ、これをもって討論を終結いたします。

これより、採決に入ります。

議案第38号、平成29年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

議長（渡邊誠次君） 全員挙手でございます。

よって、議案第38号は原案のとおり可決されました。

議長（渡邊誠次君） 以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

これもちまして、平成29年第3回小国町議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでござ

いました。

(午前10時48分)

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためにここに署名する。

議 長

署名議員（4番）

署名議員（9番）

会 議 の 顛 末

1. 会議録署名議員の指名

4番 高 村 祝 次 君

9番 熊 谷 博 行 君

1. 会期の決定

今期臨時会の会期を7月31日の1日間とする。

1.	議案第 37 号	平成 2 9 年度小国町一般会計補正予算（第 2 号）について 平成 29 年 7 月 31 日 原案可決
2.	議案第 38 号	平成 2 9 年度小国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）について 平成 29 年 7 月 31 日 原案可決

小 国 町 議 会 会 議 録
平 成 2 9 年 第 3 回 臨 時 会

平 成 29 年 7 月 発 行

発行人 小国町議会議長 渡 邊 誠 次

編集人 小国町議会議務局長 小 田 宣 義

作 成 株 式 会 社 ア ク セ ス

電 話 (096) 372-1010

~~~~~  
小 国 町 役 場 議 会 事 務 局

〒869-2592 阿蘇郡小国町宮原1567-1

電 話 (0967) 46-2119